

ビジョンと整備方針の考え方

- 新スタジアムのありたい姿を踏まえて全体ビジョンを設定するとともに、先行事例・スタジアム・アリーナ改革、行政計画、現スタジアムの課題、市民・県民の期待の4つの視点からキーワードを抽出・整理し、全体ビジョンの実現に向けた整備方針を検討する。

新スタジアムの全体ビジョン・整備方針の考え方



*1「県民の期待」の視点については、8月以降に実施予定の県民アンケートの結果を踏まえ整理する。

検討視点から得られたキーワード(1/2)

- 整備方針の各検討項目に対して、アンケートによって検討を行う「県民の期待」の視点を除いた3つの視点でキーワード抽出を行った結果は以下の通り。

整備方針の検討項目と各検討視点から得られたキーワード

項目	得られたキーワード		
	行政計画	現スタジアムの課題	先行事例・スタアリ改革
位置づけ・シンボル性	・新スタジアムを核としたまちづくり ・スポーツ・賑わい拠点 ・地域の新たなシンボル ・鹿嶋らしさ ・交流・関係人口の拡大 ・プロスポーツクラブとの連携 ・地域経済の核 等	-	・地域への誇り・愛着の醸成 ・国内外への魅力の発信 ・暮らしの楽しさ・豊かさの向上 ・地域の活力向上 等
利用方針	・するスポーツ・観るスポーツの推進 ・生涯スポーツの環境づくり ・日常的なスポーツ活動の定着 ・多世代・多様なスポーツ参加 ・地域スポーツクラブの活性化 ・学校体育・地域スポーツの連携 等	-	・プロ・アマ利用の両立 ・地域住民に開かれた利用方針 ・非試合日の有効活用 ・年間を通じた利用・賑わい創出 等
導入機能	・スポーツツーリズム ・宿泊・飲食との連携 ・観光案内・情報発信 ・誘導サイン・案内表示 ・もてなし・滞在拠点 ・ユニバーサルデザイン ・賑わい創出 ・民間活力・民間投資の活用 ・健康・運動習慣づくり 等	・収益性を高めるホスピタリティ機能 ・円滑な観客導線の確保	・観客体験価値の向上 ・多競技・多目的対応 ・ホスピタリティ機能の充実 ・収益源の複線化 ・スタンド下・コンコース等スペースの有効活用 等
まちづくり・周辺連携	・スポーツ・賑わい拠点 ・回遊性・滞在性の向上 ・交通利便性の向上 ・拠点間連携 ・日常・非日常の賑わい創出 等	-	・スタジアムを核としたまちづくり ・周辺施設・インフラとの一体化 ・広場・緑地との連続性 ・歩行者導線・回遊性の向上 ・365日利用・非試合日の賑わい創出 等

検討視点から得られたキーワード(2/2)

- 整備方針の各検討項目に対して、アンケートによって検討を行う「県民の期待」の視点を除いた3つの視点でキーワード抽出を行った結果は以下の通り。

整備方針の検討項目と各検討視点から得られたキーワード

項目	得られたキーワード		
	行政計画	現スタジアムの課題	先行事例・スタアリ改革
景観・環境・防災	・自然環境・景観との調和 ・水と緑のネットワーク ・緑地・樹林地の保全活用 ・地域特性を活かした景観形成 ・緑豊かな都市空間 ・省エネルギー化 ・再生可能エネルギー・ZEB ・ライフサイクルを通じた環境配慮 ・防災・減災機能 ・地域防災力の強化 ・防災拠点・避難場所の確保 ・帰宅困難者対応 ・持続可能な施設整備 等	・安全性・維持管理性の向上 ・老朽化対策 ・ライフサイクルコストの抑制	・地域景観との調和 ・地域性を表現する象徴的デザイン ・環境負荷の提言 ・再生可能エネルギー・資源循環 ・ライフサイクルコストの最適化 ・高い耐震性・災害時の機能継続 ・地域防災拠点・ライフラインの自立性 等
官民連携・事業性	・民間活力の導入 ・PPP/PFI手法の活用 ・民間投資の促進 ・効率的な管理運営 ・維持管理コストの削減 ・財政負担の平準化 ・資産の有効活用・未利用資産・遊休資産の利活用 ・受益者負担の適正化 ・公共性と収益性の両立 等	・建設費高騰への対応 ・官民連携による実現性確保	・プロフィットセンター ・施設収益の最大化・公費負担の軽減 ・公共性と収益性の両立 ・民間資金・民間ノウハウの積極的な活用